

COUNT DOWN

「緑の党」誕生へ



7/28(土) 11:00~18:00
(開場 10:30)

「緑の党」結成総会

会場：YMCAアジア青少年センター 会員以外も来場歓迎
東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 JR水道橋駅徒歩5分

7/29(日) 13:30~16:30
(開場 13:00)

集まろう! キックオフ! イベント 希望の未来を つかまおう!

会場：星陵会館 東京都千代田区永田町2-16-2 TEL 03-3581-5650
東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」6番出口 徒歩3分
東京メトロ千代田線「国会議事堂前駅」5番出口 徒歩5分

プログラム

「緑の党」結成総会の報告

海外からの来賓あいさつ

ベアベル・ヘーンさん(ドイツ緑の党、連邦議会議員 会派副代表)
スコット・ラドラムさん(オーストラリア緑の党、連邦議会上院議員)
シナン・マヴィヴォさん(台湾緑の党)

来賓あいさつ

中沢新一さん(グリーンアクティブ代表) 鎌仲ひとみさん(映像作家)
吉岡達也さん(ピースポート共同代表) 松本 哉さん(素人の乱)
上原公子さん(元国立市長)

ビデオメッセージ

加藤登紀子さん(歌手) いしだ壱成さん(俳優) 辻 信一さん(環境運動家)
三井マリ子さん(女性政策研究家) アイリーン・美緒子・スミスさん(グリーン・アクション)
雨宮処凛さん(作家) 白石 草さん(OurPlanet - TV) 他

ミュージック

Yae + 真砂秀朗



福島からアピール

ビデオ出演
武藤類子さん(福島原発告訴団長)



会津地方の民衆の怒りと大地の恵みに感謝する「かんしょ踊り」をみんなで踊りましょう。

17:30~ 国会議事堂正門前での記念撮影とパフォーマンス

* 託児はありませんが、お子様連れの参加歓迎。ミニキッズスペースを設ける予定です。

つながる「緑」

7/29 キックオフ! イベントにて グリーンアクティブ代表 中沢新一さん 登壇! 加藤登紀子さん ビデオメッセージでコメント

私たちは、「緑」への関心、期待の広がりの中で、「緑の党」を結成し、さまざまな「緑」の動きとつながっていきます。7/29のキックオフ! イベントには「グリーンアクティブ」を立ち上げた中沢新一さんが登壇します。加藤登紀子さんもビデオメッセージを寄せてくれます。「いい関係」を広げていきましょう!



中沢新一さん



加藤登紀子さん

「緑の党」へ 期待のメッセージ

鎌仲ひとみさん 映像作家

原発事故によってこれまでの政治のあり方、社会のあり方に、戦後初めてとっていいほど多くの人々が深い絶望を感じ、なんとかしなければと真剣に考え始めたようです。しかし、同時に政治に選択肢がないのではないかと感じてもあります。そんななかで緑の党が立ち上がることは意味は大きい。「緑」の意義は単に環境至上主義ではなく、公平で持続可能、包括的な政治の選択肢を提供することではないでしょうか? それこそが今、私たちが必要としているものなのです!



広井良典さん 千葉大学教授

現在の日本には経済成長に代わる豊かさのビジョン、「エコロジー志向の福祉社会」のモデルを掲げる政党がありません。初めてこうした構想と政策を提示した「緑の党」が発展していくことを期待しています。



雨宮処凛さん 作家・活動家

原発事故以降、何を基準にこの国や世界の未来を考えていくのか、一人一人が問われている。私は何よりも、「命」を基準に考えたい。そこからしか、きっと何も始まらないのだと思う。



撮影・穂治毅

吉岡達也さん ピースポート共同代表

311で私たちは変わりたいと思います。原発もない核兵器もない持続可能で平和な世界に生きたいと思います。そのためには緑の政治家が必要です。原発をなくそうという政治家、再生可能エネルギーを推進するという政治家、福島の人々に向き合う政治家を国会に送りましょう!



松本 哉さん 素人の乱

江戸の開国以来、日本はずっと経済発展を目指して来たが、ハッと我に返ったらやたら窮屈な社会になっていた! こりゃ話がちがう。もうちょっとのんびりマヌケに生きていける社会を作るには、緑の党の発想は超重要!



辻 信一さん 環境運動家、文化人類学者

世界中のさまざまな危機と絶望が、ひとつの希望を語っている。子どもたち、若者たち、そしてこれから生まれてくる者たちのために、その希望を紡ぐ緑の政治を、今こそ。



「緑の党」結成から参議院選挙へ

大募集

めざそう! 1億円
世界一高い供託金に負けないぞ!
ご協力ありがとうございます!
¥ 8,241,424 (2012.6.1現在)

わたしたちは、東京電力福島原発事故を招いた「経済成長至上主義」と、既成政党や官僚や専門家への「おまかせ民主主義」にサヨナラします。脱原発、そして地球環境と共存できる持続可能な社会、草の根の市民活動が支える参加民主主義こそ、「緑の党」のめざすものです。

「日本にも緑の党がほしい!」という声が高まっています。わたしたちは、一人ひとりの思いが反映されるプロセスを大切にします。

「緑の党」結成にむけて「みどりの未来」がよびかけ、多彩なメンバーが集まって「緑の党」の結成準備をすすめてきました。

世界にあって日本にない「緑の党」を、いま、ここに、立ち上げます!

2012.6.10「緑の党」結成準備委員会

<http://greensjapan.blogspot.jp/>

「緑の党」結成準備委員会・代表世話人



すぐろ奈緒 東京都
杉並区議会議員
みどりの未来共同代表



高坂 勝 東京都
「減速して生きる
ダウンシフターズ」著者



長谷川羽衣子 京都府
NGO e-みらい構想代表、
みどりの未来運営委員



中山 均 新潟県
新潟市議会議員、
みどりの未来共同代表

残部僅少

「緑の党」へACCESS

A4・48P 300円(税込)

「緑の党」ってどんな党? そんな疑問にわかりやすくお答えします
めざす社会ビジョン/緑のこだわり政策/既成政党との違い/「緑の党」への
プロセス/世界一高い供託金の話/躍進する世界の緑/「脱成長」をめくって
(飯田哲也、満田夏花他)

脱原発・エネルギーシフトへの道

ドイツ視察ツアー報告/「緑の党」の脱原発アクションプラン/3・11から1年
福島からのメッセージ

面白まじめトーク「下から目線のマニフェスト」
(高坂勝、松本哉、滝田はるな)



結成総会へのステップ

6/24 日

第3回結成準備委員会
総会に提出する「議案」を決定

6/30

総会参加登録
の締切

7/2

「議案」を発表
会員による名称投票開始

7/20

修正案締切
名称投票締切

7/27 金

第4回結成準備委員会

7/28 土

「緑の党」結成総会
議決権は、みどりの未来会員、
参加登録者にあります

2012 3/29~4/1 グローバルグリーンズ IN ダカール 緑の党世界大会



3/29~4/1の4日間、西アフリカはセネガルの首都ダカールで、「第3回グローバルグリーンズ会議(緑の党世界大会)2012」が開催されました。みどりの未来からは私も含め4名が代表団として参加しました。会議には、世界の約90の国と地域にある「緑の党」のうち76カ国と600名の関係者が参加して熱い議論が交わされました。

テーマは、緑の政治、原発・核問題、女性と民主主義、生物多様性、気候変動と自然エネルギー、そしてRio+20サミット(グリーン経済:持

続可能な開発と貧困の根絶)など。また大会では、各国から多くの決議案が提案されました。日本を代表して参加したみどりの未来は「グローバル脱原発決議案」を起草、APGN(アジア太平洋緑の党ネットワーク)と共同で提案し、決議案「グローバルグリーンズは脱原発社会を強く求める」が採択されました!そして会議を通じて、ドイツ緑の党のクラウディア・ロート代表をはじめ、アジア太平洋を中心にアフリカや南北アメリカ、ヨーロッパの「緑の党」関係者とネットワークをつなぐことができました。世界中で頑張っている緑の党の仲間たちから、「日本での緑の党設立」に向けてたくさんの熱い声援をもらいました。

(みどりの未来国際局 郡山昌也)



ドイツ緑の党共同代表(連邦議会議員)クラウディア・ロートさんからのメッセージ



私たちドイツ、フランス、イタリアなどヨーロッパや世界のすべての「緑の心」より、親愛なる日本の「緑」のみなさんへ。

私たちは、日本の「緑」の選挙キャンペーンを心から支援します。福島事故後、日本にしっかりと

とした「緑の党」が存在することはとても重要な意味を持ちます。みなさんの挑戦は必ず成功するでしょう。日本の「緑」のみなさんにとって、これは歴史的なチャンスでもあるし、エネルギー政策の変更や情報の透明性の向上という意味でも、歴史的な責任を負うものでもあると思います。

私たちはできるかぎりの力を注いで、みなさんを支援します。そして、みなさんが国会に議席を得て、日本の政治を変えるチャンスを得ることを期待しています。

「グローバル脱原発決議」(一部)

- ウランの採掘と輸出、核エネルギー生産をやめ、原発から安全で再生可能な、分散型のエネルギー生産への世界的なシフトを達成する
- 核廃棄物の貯蔵場所に関して、先住民の権利に配慮しつつ、民主主義的かつ公正で安全な、可能な解決策に関する世界的議論を開始する
- 再生可能エネルギー源の使用とエネルギー消費量の削減によって、原発を必要としない気候変動に対処する戦略と情報を共有する
- 福島の事故により激しく損害を受けた日本や、オーストラリア、カザフスタン、ロシア、カナダ、ニジェールのようなウラン輸出大国に焦点をあてつつ、グローバルグリーンズと協力して、各国緑の党の主導と参加によって、世界規模での反核運動を始動させるために各国の反核運動を支援する

http://www.greens.gr.jp/pdf/siryout2_ketugi_GG_20120412.pdf